

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1	ギフト詰合せ注文一覧														
2	ギフト詰合せ注文一覧														
3		日付	コード	商品	単価	数量	計		コード	商品	単価	注文件数	注文個数	注文合計	
4		4月3日	1003	お酒	2900	2	5800		1000	チョコ	2300	3	6	13800	
5		4月10日	1001	ジュース	1800	1	1800		1001	ジュース	1800	4	11	19800	
6		4月11日	1000	チョコ	2300	2	4600		1002	ビール	3200	2	6	19200	
7		4月13日	1001	ジュース	1800	4	7200		1003	お酒	2900	2	7	20300	
8		4月15日	1002	ビール	3200	1	3200		1004	クッキー	2100	2	7	14700	
9		4月16日	1003	お酒	2900	5	14500		1005	油	1900	1	1	1900	
10		4月20日	1004	クッキー	2100	1	2100								
11		4月30日	1000	チョコ	2300	2	4600								
12		5月2日	1001	ジュース	1800	1	1800								
13		5月5日	1001	ジュース	1800	5	9000								
14		5月10日	1005	油	1900	1	1900								
15		5月11日	1000	チョコ	2300	2	4600								
16		5月12日	1002	ビール	3200	5	16000								
17		5月13日	1004	クッキー	2100	6	12600								
18					合計	38	89700								
19					平均	2.714286	6407.143								
20															

COUNTIF 関数 (条件付きで個数を数える)
 =COUNTIF(範囲, 検索条件)

SUMIF 関数 (条件付きで合計する)
 =SUMIF(範囲, 検索条件, 合計範囲)

Tips

- ・ |行|データの考えに慣れる。出納帳なども |行|データ。
- ・ 条件付きで何かしようと思った場合、「IF」の言葉が頭の中に出てくるようにする。
- ・ 答えを求める数式は複数ある。ここでの解説はあくまでも「模範解答」
 平均を求めるとき、極端な例で「=AVERAGE(OO)」でも「=SUM(OO)/COUNT(OO)」でも正しく答えは出るし間違いではない。慣れるまでは「答えが正しく出る」を重視し、スマートな数式じゃなくても気にしなくて OK

